

パブリック・コメント制度による

「第2次富士市観光基本計画（案）」

に対する意見募集の結果について

1 意見募集の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 意見募集方法 | ①富士市ウェブサイトへの掲載
②交流観光課、各まちづくりセンター、中央図書館での閲覧 |
| (2) 募 集 期 間 | 令和7年2月14日(金)～令和7年3月14日(金) |
| (3) 意見提出方法 | ウェブサイトの送信フォーム・電子メール・郵便・FAX
担当課への直接提出 |

2 意見募集結果

- | | |
|------------------|------|
| (1) 意見提出者の数 | 13人 |
| (2) 提出された意見の数 | 32件 |
| (3) ウェブページアクセス件数 | 542件 |
| (4) 意見の反映状況 | |
| ➤ 反映する(一部反映を含む) | 0件 |
| ➤ 既に盛り込み済み | 9件 |
| ➤ 今後の参考にするもの | 19件 |
| ➤ 反映できないもの | 0件 |
| ➤ その他 | 4件 |

令和7年3月

富士市 産業交流部 交流観光課

「第2次富士市観光基本計画（案）」の
パブリック・コメントに対する意見及び回答（市民からの意見）

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	富士駅から日本製紙富士工場内の貨物線を利用してふじさんメッセまでライトレールをつくってほしい。新富士駅にも近くなるので。	いただいたご意見は本案と関係がないため、回答は控えさせていただきますが、市役所関係部署に共有させていただきます。	5 その他（案件とは無関係な意見等）
2	富士山と海という観光資源がありながら、観光客を呼び込めるものが無さ過ぎます。何十年も前から老朽化して廃れていく商店街、駅北開発の中途半端さ。例えば商店街を一扫して富士山タワー的なもの、ホテル、ショッピングモールなどを造りアクセスも改善させるとか、身延線駅近くに市営住宅を造り、身延線を使うメリットも繋げて若年層が住みたくなるようなまちづくりや、農業の担い手増進で特産品を作るとかに対してもずっと消極的でガラパゴス化しているだけのように感じます。大きな黒字を生み出す為の投資。兎にも角にもやる気が感じられません。全国の人達に富士市を知ってもらい、来てもらう為にという大胆な構想を立ててほしい。ポテンシャルは相当あるのですから。	本計画では、観光消費額を増加させることを将来目標としています。将来目標の数値を宿泊と飲食・サービス業の売上額としていますので、様々な産業が観光事業に取り組むことで本市全体が発展していくことを期待しています。そのために特定の業種に関わらず、様々な部署・事業者と連携を図り、観光振興に努めます。（施策9・10・11・12・18）	2 既に盛り込み済み
3	田子の浦港を観光資源として使い切ることでもっともっと富士市が豊かになるのではないかと思います。 ・マリーナの整備（海の駅登録） ・YAMAHA sea style の誘致 ・ヨットレースなどの誘致 田子の浦港を富士市の新たな玄関の1つとして、新たな人流や交通を獲得する。また、周辺商業施設の活性化に繋げる。 田子の浦港は駿河湾の最奥で洋上から見る富士山は富士市の新たな魅力になり得ると思います。 ジャストアイデアで申し訳ありませんが、陸地だけではなく海の上に舞台を広げれば富士市はもっともっと新たな魅力が見えるのではないかと思います投稿させていただきます。	富士山と駿河湾（田子の浦港）を併せ持つことは本市の特徴であり、「富士山に一番近い港」である田子の浦港は、有力な観光資源の一つと認識しています。また、「みなと」を核としたまちづくりを促進する国の認定制度である「みなとオアシス」制度に登録するなど、みなとのにぎわいづくりを推進しており、より一層の観光活用を展開しているところです。 また、ご提案いただいたイベント誘致などの取組は、新たな魅力の創出につながることから、今後の参考にいたします。 （施策5・13・14）	2 既に盛り込み済み

4	富士宮市と比較すると観光魅力が劣る事は感じます。 現状、紙の町だけでは、先は望めません。 県三番目の人口の町らしく、都市再開発計画などで、「人が、富士市に足を運ぶ駅前整備」 例えば、 ・ JR 富士駅商店街都市計画 ・ 新幹線富士駅富士山メッセが、稼働率低い為、見直し、ららぽーとなどの商業施設の誘致などの検討。 三島駅、沼津駅と比較すると見劣りはします。 まずは、人が富士市に足を運ぶ事が、大事だと思います。	首都圏からのアクセスが良いことが、本市の観光面においては通過点になっているという現状です。これを強みに変えていくために、わざわざ立ち寄りたくなるような体験コンテンツの造成や情報発信等に努めます。 また、富士駅北口につきましては、現在、「人が足を運ぶ駅前」を目指して、富士駅北口再整備事業を進めております。 本事業は観光を主目的とした事業ではありませんが、駅前広場上空を活用したブックアンドカフェやものづくりラボを主体とする公共施設を整備するほか、駅前からの富士山眺望点となる「富士見テラス」の整備を計画しておりますので、市外からも来訪者が増えるよう情報発信に努めます。 また、この再整備により静岡県内及び山梨県の学生をターゲットとした専門学校の開校等も予定しており、市内外の皆様に足を運んでいただける富士駅前となるよう、引き続き事業を進めてまいります。	3 今後の参考にするもの
5	富士市はせっかく富士山が綺麗に拝める市なのに観光地がなく人が隣りの市である沼津や富士宮に流れてしまっています。 東名、新東名の IC や新幹線の駅があるにもかかわらず人の足を止める見どころが無い。楽座に観覧車があるものの車がある人はよくても電車や新幹線で来た人の足がない。須津溪谷橋でバンジー、こどもの国なんかもあるけどやはり足がないと行けない。始めは楽座やバンジーなどの場所の宣伝と移動手段、キャンプ場等あればもっと観光者も増えると思いますが、後はイベントを増やす(富士本町を使ったフリマだったり)たまには歩行者天国にしたりイルミネーションなんかも期間限定ですし、ただやはり富士市は交通の便が悪い。 中央公園でのイベントでも付近に駐車場が少ないので土日開催なら市役所の駐車場解放など駐車場の場所なども考えて欲しい。 私も富士市民ですが、駐車場が無いとイベントやっていてもスルーしてしまうので... 考えてみれば色々あるものの押しが無いのもっと市で宣伝は大事だと思う。 マリンプール、バンジー、楽座、こどもの国等後は交通手段、駐車場等今ある場所を盛り上げる、イベントを増やす(動物ふれあい、	交通の便が良いことが、本市の観光面においては通過点になっているという現状です。 今回の計画では、3つの観光スポットを拠点化・エリア設定し、滞在・周遊を高めるための環境整備を推進していきます。(施策 12・13・14) また、タイミングや媒体、ターゲットの選定などを行い、より効果的な方法での情報発信に努めます。(施策 22)	2 既に盛り込み済み

	フリマ(歩行者天国)、イルミネーション、)その宣伝。宣伝活動がいまいち弱い。		
6	観光の目玉を作っていきませんか？ 以前、日本全国から〇〇富士と名前のつく山の石を集めたことがあります。例えばその石と山の写真をの展示コーナーを作ってはどうか。	富士山かぐや姫ミュージアムに、全国の「ふるさとの富士山」の石を集めたモニュメントを展示しています。 また、全国の「ふるさとの富士山」の写真を集めた展覧会については、民間団体が市内の道の駅等で不定期に展示会を行っています。	3 今後の参考にするもの
7	吉原宿の再現をして、食事所にしたらどうか。	東海道ウォーキングマップを作成し、観光客に配布しています。また、吉原商店街には、東海道の歴史に関する説明板などが設置されていることから、吉原宿に関する更なる情報発信に努めていきます。	3 今後の参考にするもの
8	犬猫の殺処分ゼロの街にしたいです。	いただいたご意見は本案と関係がないため、回答は控えさせていただきますが、市役所関係部署に共有させていただきます。	5 その他 (案件とは無関係な意見等)
9	吉原駅、富士駅、新富士駅間の無料バスを実現して下さい。不便です。	新富士駅・富士駅間が接続していないことは、観光面においても長年の課題です。令和6年度は、都市計画課と静岡県が連携し自動運転バスの実証運行を行うなど、課題解決に向けて取り組んでいます。	3 今後の参考にするもの
10	富士市は映画館、結婚式場もほぼ無いけど東名、新東名のインターが両方あり新幹線の駅も有る！ でも、これを利用した目玉が有りません。 例えばコストコを誘致して他府県から富士市にお金を落として貰える様にしてはいかがでしょうか？ 企業の工場誘致も良いですが、観光の面でとても有益だと思います。(労働の場も生まれます。)	今回の計画では、3つの観光スポットを拠点化・エリア設定し、滞在・周遊を高めるための環境整備を推進していきます。(施策12・13・14)	2 既に盛り込み済み
11	若者が住宅を建て住む場合、移住者だと奨励金が有りますが、富士市民にも補助金が有ったら良いと思います。 若い方が住みやすい環境があれば今後の富士市を支える力になって貰えると思います。	いただいたご意見は本案と関係がないため、回答は控えさせていただきますが、市役所関係部署に共有させていただきます。	5 その他 (案件とは無関係な意見等)

12	他地域と比較するとインバウンド対応が圧倒的に不足していると思われます。まずは富士駅や新富士駅、道の駅といった玄関口に植木や浮世絵等で和の彩りを添えながら、おもてなし感と清潔感を演出。 茶文化の紹介や紙を使った体験(茶摘み体験、伝統工芸、和紙を使った行灯の製作、浮世絵版画制作や毛筆体験等)も良いかと思います。 他にも街の景観や岳南電車の駅や車両に外国人受けする和のテイストを取り入れていくことが重要だと思われます。	インバウンド向け体験としての書道体験や茶娘の衣装着用体験などすでに実施されていますが、ターゲットに対し、より効果的な情報発信に努めます。(施策 23) また、本市ならではの体験が今後さらに増加していくよう、民間事業者と連携を取りながら誘客に繋げていきます。	2 既に盛り込み済み
13	龍巖橋上流部の整備 入山瀬溶岩流見学コースの整備 昭和59年富士市より発行されている「鷹岡町史」によると、龍巖淵上流部、入山瀬溶岩流は、富士山の山麓に多数分布する新富士火山起源の旧記溶岩流の一つであるが、それは富士山の山麓斜面を南西流して潤井川の谷底平地に達したのちこれを横断して星山丘陵の急斜面(大宮断層崖)に衝突して止まったものとされています。 入山瀬溶岩流のうち、石の宮付近の潤井川「ポットホール(甌穴)」群は通称「ヤスガ淵」にあり、そこには入山瀬溶岩に数十センチメートルから1～2メートルまでの見事なポットホールがあり、富士キノクロス(現:王子キノクロス)様が昭和40年代より設備投資をする以前は、地域の人々の遊び場として広く知られていましたが、工場進出のため河川に立ち入ることができなくなり隠れた秘境となっております。 龍巖淵より石の宮へ至るまで、遊歩道・つり橋の設置・部分的にロープウェイの設置などで、わが国最大級の縦ずれ活断層・入山瀬溶岩流を眺め、さらに上流部の天満田んぼ付近では「大宮断層」を眺めることが出来、龍巖橋すぐ北側には明治23年に建設された、わが国2番目の木材パルプを製造した工場「富士製紙工場(現:王子特殊紙富士工場)」を眺めることもできます。	龍巖淵と併せて、溶岩流や活断層の情報を発信することは可能ですので、市ウェブサイト等で紹介する機会を設けていきます。 なお、つり橋・ロープウェイ等の設置については、巨額の整備費用等を考慮すると、多くの課題があるものと考えております。	3 今後の参考にするもの
14	龍巖橋下流部の整備 全国的な桜の名所になってきているため公園整備 龍巖橋下流部においては、富士山をバックに桜堤の景観が素晴らしく、全国的にテレビ放映され、訪日外国人も多く訪れ、観光バスも立ち寄りますが、現地周辺には駐車場が整備されていないため、早急に大型バスも駐車可能な駐車場・公園整備が必要です。	龍巖淵は、富士山と桜・清流を一度に鑑賞できる桜の名所として、多くの観光客が訪れています。一方で混雑する期間は桜の開花期間の約2週間程度であることから、近隣の事業者等の協力を得て、観光バスの駐車場を確保しています。 また、交通渋滞や交通事故を防ぐために、展望スペースの設置や警備員の	3 今後の参考にするもの

		配置などの対応に努めています。	
15	ロープウェイ計画 龍巖橋付近より岩本山公園へのロープウェイを計画し富士山・富士市の全景を眺めることができるよう整備 ロープウェイ設置が可能であるならば、「鷹岡町史」などを元に龍巖橋周辺や富士市の歴史を勉強し、入山瀬溶岩流を眺め、ロープウェイで岩本山公園と接続し、富士山をバックに富士市全景を眺めることが出来る絶景スポットとなります。	ロープウェイの設置については、巨額の整備費用等を考慮すると、多くの課題があるものと考えております。岩本山公園や観覧車フジスカイビューからは、市域の大部分が見渡せることから、それらのスポット等の周知を行います。	3 今後の参考にするもの
16	潤井川右岸堤防補強 嵩上げ整備 堤防補強、嵩上げをし、LRT計画の専用道路を整備 全国的に大雨による災害が頻発しています。 富士市においては潤井川が氾濫すれば、市内の半分が水没する可能性があり、特に潤井川右岸側の堤防補強・嵩上げし、災害への備えをする必要があります。 先日、次世代型路面電車（LRT）が栃木県宇都宮・栃木芳賀町では新しい地域公共交通として定着してきたとの新聞記事がありましたが、堤防補強を兼ねた次世代型路面電車（LRT）を同時に計画も可能であると考えます。新富士駅～田子の浦港～龍巖橋付近～石の宮～天間～富士宮ルートなど富士市の生活の足、観光ネットワークの一つとして検討の価値があると思います。	観光面での2次交通の問題は、以前から課題として認識しています。しかしながら、事業者側の担い手不足等の問題もあり、引き続き検討を継続していきます。 今後は、テーマを設定した周遊コースを策定し、レンタサイクルの充実を図るなど、別の角度からの対応・PRにも努めていきます。 なお、LRTの導入につきましては、公共交通ネットワークの強化や都市の魅力向上など、様々な効果が期待されるものの、巨額の整備費用等を考慮すると、多くの課題があるものと考えております。	3 今後の参考にするもの
17	新富士駅と JR 富士駅をつなぐシェルター計画 全国的に新幹線が停車する駅で新富士駅が唯一、在来線との接続がありません。 接続のない、日本一不便な街から、日本一住みやすい街に生まれ変わるためには何が必要でしょうか。 富士市では本年度、移住定住の促進に向け補助金制度を創設、拡充していますが、根本的に便利な街づくりの未来像が見えなければ小手先の支援を計画しても人口が増えるとは思えません。 先日、自民党の議員連盟が武力攻撃を想定した避難施設（シェルター）の整備促進に向け関連法案提出を目指しているとの新聞記事がありました。 国民保護法に基づき指定された避難施設は全国10万箇所、そのうちミサイル攻撃から身を守る施設は約4,000箇所、全体の4%に満たないそうです。 これから防衛予算がGDPの2%と計上されてきます。	いただいたご意見は本案と関係がないため、回答は控えさせていただきますが、市役所関係部署に共有させていただきます。	5 その他（案件とは無関係な意見等）

	このチャンスで富士市の拠点となる新富士駅とJR富士駅との接続を兼ね、地下施設を計画し、歩く歩道、無人電気自動車等を整備し「安全・安心・便利」な、移住定住者にとって魅力あるまちづくりを計画していただきたいと思います。		
18	大型クルーズ船入港のための田子の浦港の整備 2024年6月 昭和会にて静岡県交通基盤部の講演があり、清水港にてクルーズ船の寄港が非常に伸びており、同時に大型の乗客船の寄港も多くなっているとの資料がありました。 地元田子の浦港では受入れ状況が脆弱ですが、これから大型クルーズ船が寄港できる受け入れ態勢の整備が必要を感じています。 なお、2,000～4,000人規模の乗客の移動を考慮すると、富士市の現在の状況ではバスで市外への移動となり、単なる通過地点となりうるので、観光ネットワーク、新しい交通システムの整備も並行して計画する必要があります。	大型クルーズ船の寄港につきましては、港の構造上の制約から、全ての船の受入は不可能であります。寄港可能なクルーズ船社等に対し、誘致活動を継続しているとともに、行政や港湾関係者等で構成する「客船誘致委員会」を設置し、受入れ態勢の強化を図っております。 また、港へのアクセス向上や港周辺をめぐる取組を進めるとともに、各エリアを周遊できる利便性の高い交通ネットワークの構築に向けて、御意見を参考にいたします。(施策5・12)	2 既に盛り込み済み
19	最初にこの要望は観光交流課だけに向けた要望ではなく、市役所全部署へ通じる要望だと心得て、ぜひ共有と議論をしていただきたい。計画書を全て読んだが、前回より、配色やグラフに工夫がみられかなり読みやすくなり、視覚的で印象に残る読み物になったとは感じる。「交通(電車/バス/自転車)を介して周遊の工夫をする、エリアに分けた観光アプローチに取り組む」等、小職から何度か観光交流課へ向けて提案をさせていただいたが、その提案内容が計画の構想にも反映されていたと感じた。	計画は、策定することが目的ではなく、個々の施策を実現していくことで本市が発展していくことを目指しております。今後も市だけでなく、市民の皆様や関係団体・事業者を含めたまち全体で観光による地域活性化を図り持続可能な観光地域づくりを目指します。	3 今後の参考にするもの
20	計画書として書かれていることは最も素晴らしいと思うが、これらの計画を今まで実現できていたかを交流観光課の全従業員が振り返ってほしい。前回の計画も拝見させていただいたが、まず今までの計画が実現できているとは言えない状況だと考えている。まずは富士市の観光への注力度が静岡県内の他市や、観光に力を入れている市と比較して、どれほどの立ち位置にいるかをしっかりと現状分析してもらいたい。富士市内主要駅の新富士駅前にも観光案内所が単独で用意できておらず、最近店舗側からの要望で店舗の一部を使って設置した程度では富士市の魅力を発信できている状態とは言えない。 また具体策をどんどんと「企画から実行まで」してもらいたい。	富士駅北口の近隣店舗に設置した「富士駅北口簡易観光案内所」には、毎日一定数のお客様が来訪され、観光案内はもちろん、手荷物預かりなどにも対応していただいております。案内所の役割は果たしているものと考えます。 市の魅力の情報発信に関しては、市役所からの発信はもちろんのこと、関連団体・事業者とも情報を共有しながら、より一層のPRに努めます。	3 今後の参考にするもの

21	今まで富士市は工業地域としてのインフラを整えることに注力してきたと思うが、住民の居住/生活環境を整えることは富士市で働き、住む市民にとって直接的に還元される行為であり、それらは観光インフラを整えることと共通する。これから駅前再開発が行われるが、これも市民/観光客の住環境の向上、魅力的な場所の提供、交通利便性の向上、市のプレゼンス向上等、開発内容や活用のされ方によって様々なメリットが生み出せる。市街地整備課のだけの事業と決して思わずに、連携して取り組んでもらいたい。またこれは再開発に限らず、様々な市の取組において大半の面で観光交流課は関わりがあるということを肝に銘じていただきたい。トライアルパーク蒲原のような施設が、蒲原に作れて富士市に作れなかったことを非常に情けないことだと自覚していただきたい。それは富士市政がまぎれもなく縦割りで仕事をしており、部署横断的に将来構想・事業構想をしていないからだ。これは観光交流課だけではなく、富士市政の全部署が自覚を持ってほしい。	富士駅北口再整備事業につきましては、平成 23 年度の「富士駅周辺地区市街地総合再生基本計画」の作成時から、担当の都市計画課のみならず庁内の関係部署において協議検討を進め、事業化に至っております。 また、その他の事業においても、個々の内容に応じ関係部署との連携を図るよう努めています。	3 今後の参考にするもの
22	富士市へ富士山を見に来る外国人が急増しているが、その中でも富士山をバックに工場夜景を撮影することは富士市唯一のプレゼンスと考えられる。ぜひ訪日客向けの工場夜景ツアーの開催を企画実行してもらいたい。市内外の観光客にもニーズはあると思う。	富士山と工場夜景の景色は唯一無二のものであると認識しており、全国工場夜景都市協議会にも加盟し、情報発信に努めています。 また、令和 8 年度に市制施行 60 周年の節目の年に合わせ、全国工場夜景サミットの本市開催を目指し、令和 7 年度においては誘致に向けた各種プロモーションの実施を計画しております。(施策 10)	2 既に盛り込み済み
23	そして最も望むことは、何度も言っているが観光 DMO の設立である。DMO を設置している静岡市や伊豆地域、御殿場とは観光の発信/受入態勢において大きく差があると感じる。市役所で人員が足りないならば、商工会議所/商工会/ビューロー/市民団体等と手を組んで必ず DMO を立ち上げるべきである。計画に DMO の記載がないことは誠に残念だ。計画に PDCA を記載しているつもりだが、DMO 無しには PDCA は回せないと考えている。 これから日本は人口減少社会へ突入する。減少を緩やかにできるか加速させるかは、そのまちに魅力があるか否かだと結論付けられる。まず観光を通じて富士市の認知度を上げ、魅力を向上することで移住までつなげられる様に、観光は使命の大きな事業であることを肝に銘じていただき、上記要望を必ず取	DMO の設置については、富士宮市と協同で複数年をかけて検討してきましたが、現存する組織において DMO の役割を補完することで対応するものとして結論が出されています。 また、本年度は富士山ネットワーク会議観光研究会において、富士山周辺の 4 市 1 町での地域連携 DMO 設置について、専門家を招いての勉強会を開催するなどの研究を進めてきましたが、共通の課題設定が困難である等、多くの課題があるものと考えております。 観光基本計画の PDCA においては、市内の観光関連事業者と公募委員を含めた「観光基本計画推進会議」を年 2 回開催し、進捗状況を確認するとともに、意見を伺うことで事業に反映をしてお	3 今後の参考にするもの

	り入れていただきたい。これからのより一層の活躍を期待している。	ります。	
24	バスが少ない 観光施設→観光施設へとつなぐ移動手段がないというのはそのとおりで、龍巖淵の桜を見て岩本山を登って楽座というルートを取りたいときは、いちいち富士駅や吉原中央駅まで戻らないといけないので、路線バスに乗らないでレンタカーを借りるという風になる。 静岡でも静鉄草薙駅～静岡県立美術館～JR 静岡駅～セノバというルートがあって、美術館のイベントとかイベントが無くても美術館周辺の人が JR 静岡駅に出るのに使用しているみたいです。富士でもこのようなルートを通るバスを望みます。	観光面での 2 次交通の問題は、以前から課題として認識しています。しかしながら、事業者側の担い手不足等の問題もあり、引き続き検討を継続していきます。 今後は、テーマを設定した周遊コースを策定し、レンタサイクルの充実を図るなど、別の角度からの対応・PR にも努めていきます。(施策 12・15)	3 今後の参考にするもの
25	富士市の富士山の眺望は交通インフラに依るところが多いと予々感じておりました。国一、JR 在来線、新幹線、東名、新東名、等の利用を媒介して富士山を目にする機会が最も多い富士市、そんな富士市の交通網の中で気になる事があります。国一の浮島湿原公園界隈のヤードの存在はどこよりも富士山を愛し観光の切り札として活かしていきたいとする市の意向と矛盾するのではと。他県からの利用者も多い事は想像に難くないこの道路からの富士山の眺望と周りの環境にももう少し配慮が欲しいと思いますがいかがでしょうか？都市計画ではこの界隈での農地以外の利用は許されていないとの話も聞きましたが、結果的には野放図状態でスクラップが山積みされ、江尾地区までの道路沿いには「土地貸します」と言った看板もありいずれ同様の利用がなされるのは明らかです。地主と借り手の事情を見過ごしていると取り返しの付かない事態になり、環境汚染的にも問題かと。	市内では、あらゆる場所から富士山の景観が楽しめ、訪れた人が自分だけのお気に入りの富士山を見つけることが出来ます。富士市は富士山の様々な恵みによって発展してきましたが、富士山の景観のみならず、自然環境を守ることも持続可能な観光という視点からは重要なことだと考えます。 浮島ヶ原自然公園は、絶滅危惧種の植物が生育することもありますので、土地利用事業が行われる際には、公害関係法令等により、必要に応じて周辺環境の影響を考慮した事業の実施を求めています。 いただいたご意見については、市役所関係部署に共有させていただきます。	3 今後の参考にするもの
26	観光という括りでは無いかもしれませんが、東部随一の人口の富士市にはその規模感を感じることがあまりありません。規模的に小さい沼津、三島、熱海、御殿場、裾野辺りには常に大きなプロジェクト進行中の息吹がありますが富士市にはその動きがあまり見れないと思うのは誤解でしょうか？ 沼津などは東部の商都としての嘗ての威光を上手く引き継ぎ、県の出先機関を多く持ち、大型商業施設誘致の話は今もいくつか進展中のようです。過去には駿河湾しか望めない立地にも拘わらず新東名ネオパーサの誘致の成功、富士山をも併せて楽しめる富士	本計画では、3つの観光スポットを拠点化・エリア設定し、滞在・周遊を高めるための環境整備を推進していきます。これは、賑わい施設の誘致・建設の可能性を広げるためでもあり、そのような動きが出てきた際に、すぐに取り組めるような体制を整えるための施策も設けました。(施策 12・13・14)	2 既に盛り込み済み

	市には話があったのかどうかも分かりません。 話題性のある開発プロジェクトはあらゆるメディアへの登場機会を生み富士市を見聞きし訪れる機会も増えますので是非積極的な働きかけをお願いいたします。 改めて新東名富士エリアでの富士山・駿河湾一望の新 S・A 建設などを NEXCO に提案出来ないのでしょうか？楽座との新旧セットになれば最強です。		
27	ドラマ、CM その他のメディアへロケ地として採用されることは相変わらず大きなインパクトがあります。なかでも富士市は富士山を背景としてその頻度が高い方だと思います。 東部プラザ通りの富士山・新幹線・レンゲ畑、大淵笹場、富士川鉄橋（静岡市との境は微妙ですが・・・）辺りは日本人なら一度は目にしている筈のお馴染みポイント。ただ問題はそこが富士市というところにあるという認識がどれくらいあるかどうかで、実は分かってる人は案外少ないのでは？と。そこが富士市であることを知っていただく努力はセットにならないとロスが大きいと思いますので伊藤園の CM のようにクレジットを入れる場合は入れ、富士山女子駅伝中継の際にも、実はここは CM・ドラマでも登場することの多い場所でアマチュアカメラマンの聖地にもなってる・・・とかの紹介を入れてもらうとかの交渉があってもいいかと思います。メインスポンサーのスズキさんとその広告代理店を経由してお願いする価値はあると思います。更に東部プラザ通りでは結構駐車に苦労しているカメラマンなどを見かけますので通り沿いに用意してもらえると喜ばれると思いますし安全です。 通りはかなりの距離がありますので桜等集客力のある並木を整備することにより一つの名所になるのでは、と。	フィルムコミッション富士による誘致活動の成果もあり、多くのドラマや映画、CM 等の撮影が市内でも行われてきました。メディアの影響力は非常に大きいことから、市に直接撮影の相談が入った際には、可能な限りクレジットでロケ地が「富士市」であることと撮影スポットの名称などを表示いただくように依頼をしています。 令和7年度には、市内のロケ地をまとめたパンフレットを改訂する予定で、完成後はシティプロモーションや観光情報の発信ツールとして活用します。（施策 17） また、富士山と新幹線の撮影スポットである東部市民プラザ周辺への路上駐車については、施設にも協力していただき、写真撮影に訪れる方も敷地内駐車場をご利用いただけるようにしております。市のウェブサイトにも案内を掲載していますが、定期的に情報発信を行います。	2 既に盛り込み済み
28	富士・吉原の両商店街の活性化というテーマは過去からずっと耳にしておりますが、そもそも旧態依然とした商店街が何かのイベントでにわかに活況を呈すことはこの両商店街に限らずほぼ無いと思います。流行の事（こと）消費の考え方に類すると思います。商品（モノ）では無く歴史や情景・風情に魅力を感じ訪れるのが昨今の消費行動だと思います。吉原について言えばキーワードは宿場町、江戸の風情だと思います。そこにお祭りも加われば相乗効果も相まって自ず	現在、富士・吉原の両商店街にもインバウンドの来訪者が増えています。それぞれの商店街において、体験コンテンツの造成や受入態勢を整えるためのプロジェクトが進行していると伺っております。市や富士山観光交流ビューローにおいても、それらの活動の情報発信を行うなどのサポートをしていきます。 また、吉原商店街、富士本町商店街周辺の市街地整備手法等につきまし	3 今後の参考にするもの

	と賑わいは生まれるのでは？町家、宿場町、小京都・・・このテイストは観光にはめっぽう強いと思いますし、ましてや富士山付きです。 富士商店街について言えば全国まれに見る「富士見通り商店街」あまたある富士見通りの中でもずば抜けた存在だと思います。商店街のど真ん中に富士山が大きく鎮座するところはあまりないのでは？富士山を本気で売り物に出来る数少ない商店街だと思います。 その特徴を思いっきり誇張した通りのデザイン、設計とはどんなものか、売り物、商品は・・・を真剣に論議することにより唯一無二を創り上げることも不可能では無いと思います。例えば通りそのものを嵩上げして歩き専門歩行者用にし富士駅と平行につなぎ、半端ない富士山の眺望を売りにする・・・。 駅前の再開発が進行中なのは承知の上ですし、もし商店街の活性化まで含めて含まれているとしたらを思っのひとつの意見です。	て、多数のご提案をいただき、ありがとうございます。 吉原商店街周辺につきましては、新年度から地域の皆様と行政の協働により「まちなかウォークブル推進計画」を策定予定でありますので、いただいたご提案は、計画を策定する検討会議の場で共有させていただき、今後の参考とさせていただきます。 富士本町商店街周辺につきましては、駅前の再整備事業の完了以降も、周辺道路等も含め面的に、魅力的で、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを進めてまいりますので、いただいたご意見も参考に、今後の市街地整備手法などを検討してまいります。	
29	「市役所整備による安全性確保を前提に、Mierula の利用機会拡大」 観光活用のため、土日利用が出来るようにすること、また単なるビュースポットではなく出来れば外国人が喜ぶ料理（そば、餃子など）を提供出来る店を置くことで集客効果を高めること、また、富士駅北口のテラスでは悪臭の苦情発生リスクがMierula より高いと思い、代替の景観スポットが必要だと思いました。	「ふじさんてらす Mierula（ミエルラ）」からは富士山だけでなく市内の全体を見渡すことができることから、市役所の開庁日に屋上を一般開放しています。また、週休日や祝日等、市役所閉庁日でも、申請をいただくことで、団体に限ってではありますが受け入れ対応をしたり、七五三・誕生日などの記念日の利用についても相談に乗っています。 なお、給排水設備を必要とすることなどから、飲食等の扱いは多くの課題があるものと考えております。 今後も Mierula の有効な活用方法について検討していきます。 また、富士市役所以外にも富士山ビューポイントを設定していますが、今後はそれらを周遊する観光ルートを設定し、PR していく予定です。	3 今後の参考にするもの
30	観光を通じての CNF 産業の PR（例） ルート 3776 におけるスポーツシューズや卓球ラケットのレンタル 等 CNF が「高価なもの」でイメージが定着すると興味が薄れる傾向があらわれる可能性を減らすこと、そしてより身近なものであるとの宣伝が必要である上、交流の機会創出に役立つのではないかと、思いました。	CNF は多くの優れた特徴を持ち、様々な製品への活用が進んでいる新素材で、本市としてもそれらの「研究・開発等の支援」「CNF の実用化に向けた取組の推進」を行政計画に位置付けています。今後も「ものづくりのまち」としてこれら産業資源の観光への活用を検討していきます。	3 今後の参考にするもの

31	観光の外国人が今後増えるようなサービスの提供（例）SNS で富士市の紹介をしてくれたら何らかのサービスの提供する、等 県統計より、観光客は約4割が県内の人、3割は関東の人であり、外国人は1割にも満たない現状の中、外国人労働者は増加している。円安の今、外国人労働者を「観光者」にも出来、外国人同士のSNSのつながりを活用して新規顧客の開拓を図るのが良いのでは、と思いました。	現在は、観光客の情報収集の手段としてもSNSが大きな割合を占めています。インバウンドが急増している中、観光の通過点としてではなく、市内の滞在時間を延ばし、観光消費を拡大させることを本計画の目標としています。 いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。	3 今後の参考にするもの
32	「こうめ」の増便 富士夢の大橋などにおけるオーバーツーリズムの問題が岩本山公園にも言える問題であり、移動に際してバスよりも小型であり、そしてタクシーのように観光スポットのアドバイスを運転手がしてくれることも想定出来るローカルバスが有効ではないか、と思いました。	「こうめ」は、市と岩松北地区の協働で運行していることから、ご提案の内容を踏まえ、地区と協議しながら運行内容を検討していきます。 また、観光面での2次交通の問題は、以前から課題として認識していますが、事業者側の担い手不足等の問題もあり、引き続き検討を継続していきます。 今後は、テーマを設定した周遊コースを策定し、レンタサイクルの充実を図るなど、別の角度からの対応・PRにも努めていきます。	3 今後の参考にするもの